

南会津地域感染症通信 9月号

調査対象期間：2017年第32週～第35週（8/7～9/3）

平成29年9月14日
福島県南会津保健所



秋の気配を感じるこの頃。皆様いかがお過ごしですか。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので、生活のリズムを整えるとともに手洗いやうがいを習慣づけ、今月も元気に過ごしましょう！

—感染症報告の状況— ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

	32週	33週	34週	35週	南会津の状況	県内の状況（増減）
手 足 口 病	0	1	3	6	流行	流 行（↑）
ヘルパンギーナ	0	1	5	3	小流行	小流行（↑）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 （溶連菌感染症）	0	0	2	0		小流行（↓）
水 痘	0	1	0	0		一部小流行

手足口病は、手指や足、口の内側に水疱性の発疹ができる感染症です。

南会津地域では今シーズン、昨年の3倍の患者報告数があり、子どもを中心とした流行が続いています。県内全域でも、1地点あたりの患者報告数が警報レベルとなる5.0を超え、現在も高い水準で推移しています。

こまめに手洗いやうがいをし、感染の予防と拡大防止に努めましょう！



9/24～9/30は結核予防週間です

～ 知 っ て 予 防 !! 早 め の 受 診 !! ～

『 **それって、いつもの風邪ですか？** 』

咳や痰、だるさ、微熱、食欲低下・・・結核の症状は、風邪とよく似ています。
2週間以上、咳や痰などの症状が続くときは、早めに受診しましょう！



結核の感染を早期に発見し治療を受けることは、本人の症状の悪化を防ぐだけでなく、大切な家族や周囲の方への感染拡大を防ぐためにも重要です！

□結核の発生状況

福島県内では、平成28年に新たに163人の方が結核を発症しています。

そのうち、**約7割が65歳以上の方**です。

日本では、1日に約50人の新しい患者が発生し、5人が結核が原因で亡くなっています。

結核は昔の病気に思われがちですが、現代でも重大な感染症です。

□結核の感染と発病

結核の原因である結核菌は、日光で殺菌されてしまうくらい感染力が弱い菌です。

通常、結核菌を吸い込んでも、自らの免疫機能により身体から排除されたり、感染しても増殖せずに休眠状態になり、発病することはまれです。

しかし、**抵抗力が落ちている人や赤ちゃん・高齢者**は、身体から結核菌を排除する力が弱いいため、発病する危険性が高まります。

65歳以上の方は、年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう！

□結核の予防

結核やその他感染症の予防には、**身体の免疫力を高める規則正しい生活が重要**です！

十分な休息とバランスの良い食事、適度な運動を心がけましょう！



【感染症や健康に関するご相談等はこちらまで】
南会津保健所 医療薬事課 電話0241-63-0306